

1 いっしょに走ろっ！  
夢につながる、はじめの一步



星野恭子/著

大日本図書

1400円

78ホ012

障害者スポーツの世界を、アスリートはもちろん、サポートする側の活躍とともに紹介しています。互いに協力して困難を克服していく情熱に心打たれることでしょう。視覚障害のあるランナーの伴走を務める中学生たちの成長にも拍手。

2 糸子の体重計



いとうみく/作  
佐藤真紀子/絵  
童心社

1400円

91イ012

小学5年生5人の視点で、友情や家族の悩み、容姿の悩みなどが描かれています。つらいことや悲しいことがあって、時には苦しくなるけれど、それに向き合い乗り越えようとする気持ちが伝わってきます。自然と元気をもらえる一冊です。

3 お父さん、牛になる



晴居慧星/作  
ささめやゆき/画  
福音館書店

1300円

91八012

ある朝、突然牛になってしまった父親に戸惑う家族の物語。理由もわからず、言葉も通じない牛の世話に振り回される姿が「ぼく」の視点からユーモラスに描かれます。父親という存在、そして家族との関わり方を考えさせられます。

4 94歳から10代のあなたへ  
伝えたい大切なこと



吉沢久子/著

海竜社

1300円

15ヨ012

シニア世代の生き方について共感を得ている著者が、少年少女向けに「よりよい暮らし方」を綴った一冊です。友達のこと、自分のこと、家族のこと、おしゃれについてなどなど。品格あるアドバイスが心に残ります。

5 心のおくりびと  
東日本大震災復元納棺師



今西乃子/著  
浜田一男/写真  
金の星社

1300円

36イ011

東日本大震災で多くの方が亡くなり、遺族は深い悲しみに向き合うこととなりました。人の最期の姿は、残された家族の今後を決めるといいます。遺族の思いに寄り添い、被災地にボランティアで入った復元納棺師の記録がつづられています。

6 コヨーテのおはなし



リー・ベック/さく  
バジコ・リー・ボートン/え  
あんどうのりこ/やく  
長崎出版

1500円

93へ012

アメリカ南西部のネイティブアメリカンやメキシコの人々の間で語り継がれてきた動物・コヨーテの話が10話収められています。ペテン師になったり動物たちのもめごとを解決したり、コヨーテの賢さや優しさに驚かされる内容です。

7 桜守のはなし



佐野藤右衛門/作

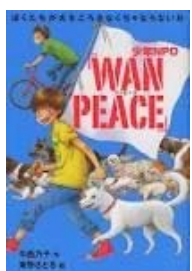
講談社

1500円

62サ012

作者は天保年間から代々仁和寺に使える植木職人「佐野藤右衛門」の16代。聴診器の代わりに木づちを握って、開花の終わった桜の木の守りをしています。手入れではなく、守りをするのだといいます。まるで子どもを見守るかのように命をつなぐ日々が描かれている写真絵本です。

8 少年NPO「WAN PEACE」



今西乃子/作  
東野さとる/絵  
新日本出版社

1500円

91イ012

「万が一狂犬病が再侵入したら」をテーマに描かれたフィクション。専門的知識も詳細でペットブームの現在、身近に感じてほしい内容です。「命を預かった責任」について、読者の子どもたちだけでなく家族で読んでほしい一冊です。

9 地球の声に耳をすませて  
地震の正体を知り、命を守る



大木聖子/著

くもん出版

1400円

45才011

本書は、地震の正体や津波発生メカニズム、地球の内部の様子が、分かりやすく解説されています。

次に地震が起きたとき、大切な命を守ってほしいという筆者の思いにあふれた一冊です。

10 とびらの向こうに



かんのゆうこ/作  
みやこしあきこ/絵  
岩崎書店

1300円

91カ011

小学6年生の子どもたちが、春夏秋冬のそれぞれの季節ごとに、さまざまな不思議に出会い、成長していく短編連作集です。

思春期の子どもたちの心の動きが伝わってくる一冊です。

1 1 願いがかなうふしぎな日記



本田有明/著

PHP 研究所

1300円

91ホ012

「望みを書くと必ずかなうから」と亡くなったおばあちゃんからもらった日記。不思議なことに次々とかなっていきます。そんな光平にはどうしてもかなえない願いがあります。それは…。望みをかなえるにはぼんやり考えているだけでなく本気で努力し、実行してみることが大切だと教えてくれる一冊です。

1 2 花実の咲くまで



堀口順子/作  
みずうちさとみ/絵  
小峰書店

1400円

91ホ012

中学を卒業したら、落語家のじいちゃんに弟子入りすると決めていた新太郎は、そのじいちゃんがなくなり絶望していました。ところが、新太郎の前に、死んだはずのじいちゃんが現れます。じいちゃんや周りの人たちとの交流を通して、大きく成長する新太郎の姿が描かれた青春小説です。

1 3 弁当づくりで身につく力



竹下和男/著

講談社

1200円

37タ012

全国的に広がっている「弁当の日」。「弁当の日」は、材料の買い出しから調理、弁当箱詰め、後片付けまで、子どもたちが行います。

本書は、弁当づくりを通して、いろいろなことを学び、成長していく子どもたちの様子が伝わってくる一冊です。

1 4 むこうがわ行きの切符



小浜ユリ/作  
岩清水さやか/絵  
ポプラ社

1300円

91コ011

普段は行けるはずのない「むこうがわ」へ行ってしまった子どもたちの不思議な体験を連作で描いた物語。リアルな気持ちに共感しつつ、ファンタジックな世界にはらはらしたり、思わず涙したりしながら、楽しんで読める一冊です。

1 5 もういちど家族になる日まで



スザンヌ・ラフルーア/作  
永瀬比奈/訳

徳間書店

1600円

93ラ011

パパと妹が自動車事故で亡くなり、その後ママも突然いなくなった11歳の少女オーブリー。一週間の一人暮らしのあとおばあちゃんと暮らすことになりますが、ようやく慣れた頃、ママの消息がわかります。深く傷ついた少女が立ち直っていく姿は感動的です。